

令和 7 年度第 1 回大和高田市介護保険運営協議会 会議録要旨

1. 開催日時	令和 7 年 11 月 11 日（火） 午後 2：00～午後 3：30
2. 場所	大和高田市役所 3 階 庁議室
3. 出席者	<p>(委員)</p> <p>出席 12 名</p> <p>森本会長 酒本委員、中井委員、西岡委員、小松委員、上山委員 宮本委員 鳩間委員 古橋委員 吉村委員、仲田委員 原委員</p> <p>欠席 3 名</p> <p>赤井委員 福本委員 竹島委員</p> <p>(事務局)</p> <p>田中保健部長 山本地域包括ケア推進課長 辻本地域包括ケア推進課長補佐 水原介護保険課長 米本介護保険課介護保険グループ係長 藪下介護保険課介護保険グループ係長</p>
4. 次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員の紹介</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 令和 6 年度介護保険給付費等の決算報告について</p> <p>(2) 令和 7 年度の本市の状況について</p> <p>(3) 第 10 期介護保険事業計画策定について</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉会</p>
5. 配布資料	<p>【資料 1】 令和 6 年度 大和高田市要介護認定等の状況</p> <p>令和 6 年度 大和高田市介護保険事業の決算状況</p> <p>【資料 1-1】 令和 6 年度介護保険事業費決算状況（奈良県下 12 市）</p> <p>【資料 1-2】 第 1 号被保険者の認定状況（奈良県下 12 市）</p> <p>【資料 1-3】 第 1 号被保険者の認定者数の推移</p> <p>【資料 2】 令和 7 年度 大和高田市介護保険給付費等の状況</p> <p>【資料 2-1】 認定率（要介護度別）（令和 7 年 9 月末）</p> <p>【資料 3】 大和高田市の主な在宅介護サービス費の事業所数</p> <p>【資料 4】 2027 年度の介護保険制度改正検討事項（第 9 期計画改正からの継続検討事業）</p> <p>【資料 5】 第 10 期介護保険事業計画の策定スケジュール</p> <p>【資料その他】 大和高田市指定サービス事業所</p>
議事内容	<p>(1) 令和 6 年度介護保険給付費等の決算報告について</p> <p>事務局より配布資料をもとに状況報告。全会一致で承認。</p>

	<p>(委員からの質問①)</p> <p>基金を 5,000 万円崩しているがこれは担当者の方からみて多いのか。</p> <p>(事務局より回答①)</p> <p>基金を被保険者に還元するために当初 110,000,000 円取り崩せるよう第 9 期計画に計上していたが、介護保険料の収入が予定よりも多かったため 5,000 万円（実質 4,100 万円）しか崩さなくて良くなったとこちらは考えている。</p> <p>(委員からの質問②)</p> <p>全国の 75 歳以上の認定率は 30.8%と厚生労働省の資料で見たが大和高田市での 75 歳以上の認定率はどうか。</p> <p>(事務局より回答②)</p> <p>大和高田市の 75 歳以上の認定率は 33.5%である。</p> <p>(委員からの質問③)</p> <p>給付費、保険料が上がっているが、これ以上上がらないように他市の取り組みなど参考にし、大和高田市に適用できないのか。</p> <p>(事務局より回答③)</p> <p>他市の給付状況や介護保険料などの数字は把握しているが他市の取り組みでどのようなことをしているか、その効果がどれくらい給付費に影響を与えているのかまで把握できない。50 代の方の健康や介護予防に力をいれていくことが大事であると考えている。</p> <p>(委員からの意見)</p> <p>いきいき百歳体操の発祥地は高知県であるときいている。高知県の認定率は低いのではないかと。体操以外にもこのような先進地を参考にしたらいいのではないかと。</p> <p>(2) 令和 7 年度の本市の状況について</p> <p>事務局より資料を元に説明。</p> <p>(委員からの質問①)</p> <p>大和高田市の介護保険料、一人当たりの介護保険事業費が近隣市町村に比べて高いのはなぜか。介護保険のサービスを受けようと思い、申請するきっかけはどのようなものがあるか。施設サービス費、特に老人保健施設の利用が多いがこれは有料老人ホームが高額で利用出来ない市民が老人保健施設に流れているからではないかと考えるがどうか。</p>
--	---

	<p>(事務局より回答①)</p> <p>介護保険料の低い市の特徴として85歳以上の介護認定率が低いという点あげられるが、なぜそのような特徴があるのかは分析するのが難しくわからない。また、大和高田市の要支援の認定率が近隣市町村に比べて高いことが認定率に関係しているのではないかと考えられる。</p> <p>また、資料に掲載している有料老人ホームは介護付有料老人ホームのことで住宅型有料老人ホームではない。住宅型有料老人ホームの給付費としては訪問介護等の居宅サービスに入っている。</p> <p>また施設サービスが増加している理由としては老人保健施設の稼働率もあがっていること、老人保健施設の入所日数も長期になっていることが施設サービス費の給付費が増加していると考えられる。</p> <p>(委員からの意見①)</p> <p>近隣市町村には大きな急性期病院もあるし、慢性期病院、精神病院もあるのでそちらが受け皿になっているのではないかと。大和高田市には慢性期病院がなく、正規の受け皿がないため老人保健施設に入所している受給者が多いと思う。</p> <p>(委員からの意見②)</p> <p>近隣市町村の介護認定審査は厳しいと聞いている。そういうことも認定率が低い原因としてあるのだと思う。</p> <p>(委員からの意見③)</p> <p>行政でこれだけデータとして把握しているのであれば、今後重症化しないように介護に進む方を減らせるという考え方もできると思う。</p> <p>(委員からの質問②)</p> <p>介護認定をするのにはお金がかかると聞いた。そのため安易に認定を受けることを勧めないで欲しいといわれたことがある。その確認をしたいがどうか。</p> <p>(事務局より回答②)</p> <p>認定をするために費用が発生するのは確かだが、申請者に負担はない。市の持ち出し、つまり税金で認定審査をしている。</p> <p>窓口でも「使いたいサービスがすぐあるわけではないがいざというときのために認定を受けたい」という方については、必要時に申請をして</p>
--	---

	<p>いただいても問題ないと説明している。お話を聞かせていただき必要であれば申請も受けている。</p> <p>(委員からの意見)</p> <p>地域支援事業、通所型サービスと訪問型サービスの資料も参考として欲しい。介護保険料には関係ないかもしれないが、次期計画を作る時にも必要かと思うので次回の会議の時には予防事業もどんなことをしているか参考資料を用意して欲しい。</p> <p>(3) 第10期介護保険事業計画策定について</p> <p>資料に基づき事務局より説明。</p> <p>(委員より質問)</p> <p>介護保険制度が変わると事業計画が大きく変わるのか。</p> <p>(事務局より回答)</p> <p>利用者の負担割合が変わると保険給付自体が影響を受けるため、介護保険料に影響はある。制度の改正が3つ予定されているが、そのどれか一つでも決まれば影響が出てくると考えられる。介護保険料は事業計画の中でもかなりのウエイトを占めている。その次に予防事業の内容などがポイントになっている。</p> <p>(会長)</p> <p>第10期計画について、委員の意見を順番に言って欲しい。</p> <p>(委員の意見)</p> <p>前計画の評価は出来ていると思う。理想はあるが、時間と労力との関係もあるので難しいと思う。</p> <p>(委員の意見)</p> <p>介護に関する費用が一般平均より多ければ悪い、少なければ良いというものではなく、しっかりと必要な給付をしていくために他地域と比較して上でよりよい方向へ進めていく検討をしていけたらと思う。</p> <p>(委員の意見)</p> <p>介護保険料が高いからダメだという考えは、市の財政事情にもよるところなのでどうかと思う。今後高齢者が増えてくることを考慮しても介護保険料が上がるのは致し方ないと思う。介護保険料を下げます、サ</p>
--	---

	<p>ービスも減らします、というのならどこから財源を持ってくるのかという議論になり難しいのではと思う。</p> <p>（委員の意見）</p> <p>他市では細かい事業をしているが、市民の方に伝達出来ていないことも多い。介護支援を受けずに済むように、40～50代の方の意識を変えるためには情報伝達が一番大事であると思う。また、ここに来たらなんでも相談できるというような相談窓口があればいいと思う。そういった配慮が市民のためにもなるし、情報伝達を含めみんなで協力していくことが介護保険料を下げることにもつながると思う。</p> <p>（委員の意見）</p> <p>介護保険制度がスタートしてから介護認定者数は増加しており、利用する方の事情もあるので介護費用負担の増は致し方ないと考えている。ただ、介護費用負担が増えた場合、サービスを使う人が減るのではないか、そうすると介護事業所の経営を圧迫するのではないかと心配される。介護費用負担増は仕方ないが、そうなったときに少しでも負担を減らしてもらえるようにしてもらえたらと思う。</p> <p>（委員の意見）</p> <p>両親の介護をしていた経験から介護が大変なもの、公的なサービスを使いたい気持ちもわかる。しかし、年金生活者として物価も上がっている今、介護保険料が上がって年金から引かれる金額が増えることは負担である。介護が大変なことは理解しているが一消費者として、みんなそのように思っているということを伝えたい。</p> <p>（委員の意見）</p> <p>現在介護事業所の人材不足が切実な問題である。どうしたら人材を確保出来るのか、育成出来るのかを計画に盛り込めたらと思う。また介護事業所の経営を圧迫しないよう地域支援事業の報酬を格差ないように検討してはと思う</p> <p>（委員の意見）</p> <p>昨年開催していた健康まつりがとても良かったと思っており、また健康まつりの開催を計画に盛り込めるならしてもらえたらと思う。</p> <p>（委員の意見）</p> <p>いろんな施策をしているのに、市民の方に周知されていないことが多い。訪問の仕事をしているが、独居の方も多く外に目を向けたくても向けられない方が多いのもっと周知・PRをしたらいいと思う。</p> <p>（委員の意見）</p> <p>自分と同年代の知人が脳梗塞になり介護のサービスのお世話になって</p>
--	---

	<p>おり、自分も他人事ではないと感じている。40～50 代に対しての予防啓発が重要だと思っている。介護予防の観点から計画を作って欲しい。</p> <p>（委員の意見）</p> <p>事業所側の意見として、人材不足、介護報酬が上がらないこと、また今後起きうる受益者負担の増など懸念事項があるが、大和高田市の事業に協力して行きたいと思っている。</p> <p>（会長の意見）</p> <p>過去に地域包括ケア推進課と介護保険課で合同で運営推進協議会をしていたことがあるので来年 11 月の開催は合同でもいいのではないかと。また運営協議会の議事録が以前と様式が変わっているので、見てもらえたらと思う。</p> <p>5. 閉会</p>
--	---